

企画展の見どころ2

# 江戸幕府が40年をかけて翻訳した 西洋天文書とその訳本が一堂に

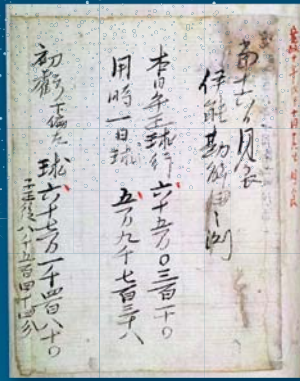
江戸幕府の天文台が19世紀はじめから約40年にわたって総力を挙げて行った、フランス人天文学者ラランドの著書『天文学』の翻訳事業に関して、洋書の原本2種（フランス語版、オランダ語版）と、幕府天文台が作成した3種類の翻訳本を一挙公開します。外国語の辞書や教科書がほとんどない時代に、天文学者たちが苦勞して研究をした様子が窺えます。



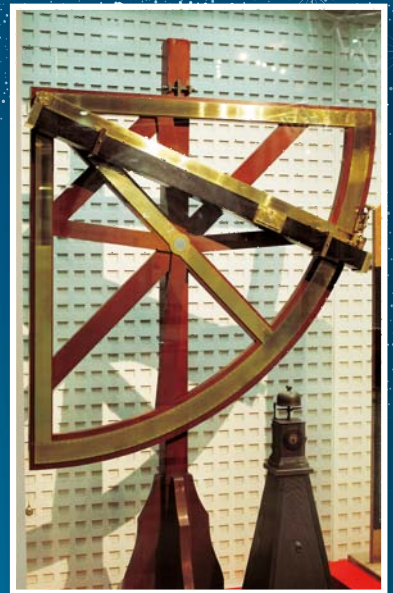
ラランド著『天文学』  
(1764年)  
大阪市立科学館所蔵



高橋至時著『西洋人ラランドの天文学の訳本』  
(1803年)  
大阪歴史博物館所蔵



上：『寛政十年戊午十月十六日月食伊能勘解由実測』  
大阪市立中央図書館所蔵



右：伊能忠敬所用象限儀（レプリカ）  
大阪市立科学館所蔵

企画展の見どころ3

# 伊能忠敬と 大阪の天文学者の関係がわかる資料が

日本全国を測量し、精密な地図を作ったことで知られる伊能忠敬は、大阪の天文学者と深いつながりがありました。50歳を過ぎて隠居し、下総（今の千葉県）から江戸に出た伊能忠敬は、大阪出身の天文学者高橋至時に入門して天文学を学びました。地図作りも、高橋至時の指導で始めた事業です。企画展では、伊能忠敬と大阪の天文学者との関係を示す資料も登場します。

INFORMATION

# 科学館



Osaka Science Museum

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1  
電話 06-6444-5656 FAX 06-6444-5657  
ホームページ <http://www.sci-museum.jp/>

**休館日** 月曜日（祝日・振替休日の場合は開館し、翌平日に休館）、年末年始、臨時休館（3/3～3/4）

**開館時間** 9:30～17:00（展示場入場は16:30まで、プラネタリウム最終投影は16:00から）  
※延長することがあります。

**料金** 展示場：大人400円、高大生300円、中学生以下無料  
プラネタリウム：大人600円、高大生450円、3歳以上中学生以下300円  
障がい者手帳等持参者（付き添いの方1名含む）、市内在住65歳以上無料（要証明）



- 地下鉄四つ橋線肥後橋駅3号出口から西へ約500m
- 京阪中之島線渡辺橋駅②出口から南西へ約400m
- JR大阪環状線福島駅、JR東西線新福島駅、阪神福島駅から南へ約900m

## ◆学芸員のおススメコレクション◆

大阪市立科学館

# 岩橋善兵衛著『平天儀図解』

泉州貝塚の眼鏡師であった岩橋善兵衛が著した天文の解説書で、1802（享和2）年に刊行されました。

注目は、岩橋自ら製作した天体望遠鏡による太陽、月、惑星のスケッチです。土星の環、月のクレーターなどがしっかりと描写されていて、200年前のスケッチとは思えないほど明瞭です。当時、国産望遠鏡はオランダから輸入した望遠鏡と比べ性能が低く、土星の環さえはっきり見えないものが多かったのですが、岩橋は高性能な製品の量産に成功したのです。彼の望遠鏡は大人気となり、日本地図を作った伊能忠敬も愛用者の一人でした。

（大阪市立科学館主任学芸員 嘉次次人）

※今回紹介した資料は、大阪市立科学館で開催する企画展「江戸時代の天文学」3月1日（日）まで展示しています。



惑星スケッチ（木星図・土星図）  
歳星は木星、鎮星は土星のこと。



岩橋善兵衛が作った天体望遠鏡（窺天鏡之図より）

大阪市立博物館・美術館・動物園

# 大阪てくてくミュージアム

大阪市立東洋陶磁美術館／大阪市立科学館／大阪市立美術館  
天王寺動物園／大阪城天守閣／大阪歴史博物館  
大阪新美術館建設準備室／大阪市立自然史博物館

